



生涯学習だより

安中市青少年センターの紹介 主に次の4つの活動をしています。



①児童下校時の指導
70人の補導員が年間5回、各小学校の校門に立って下校指導を行っています。



②夜間パトロール
年間20回の夜間パトロールを行っています。40人の補導員で対応しています。



③広報車パトロール
児童の下校時に、広報車でパトロールを行っています。

④相談
青少年のことで電話相談、面接相談、メール相談を実施しています。
※相談内容は秘密厳守します



○電話相談 ☎393-4777 (青少年センター直通)
○面接相談 上記電話番号で予め予約をお願いします。
○相談日 月・火・水・金曜日(祝日・年末年始を除く)
○受付時間 午前9時～正午・午後1時～2時
○メール相談 E-mail:seishonen@city.annaka.lg.jp
メール本文には、氏名、住所、電話番号、メールアドレスをなるべくご記入ください。メール受信後、回答までに数日かかることもあります。ご了承ください。
市ホームページ(各種相談案内)に詳細を掲載しております。ぜひご覧ください。

人権教育啓発映像資料(DVD)をご活用ください

今年度、人権教育推進委員会で購入した人権教育啓発映像資料(DVD)です。安中市文化センターにある安中市図書館で貸し出しを行っています。学校や公民館などでの上映会や研修会などでぜひご活用ください。

小学生のスマホの安全な使い方教室 -自分も相手も傷つけないために- ★文部科学省特別選定

21分 小学校中学年・高学年

本作品では、スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方をわかりやすく解説。子供たちが情報社会における正しい判断力と態度を身につけ、危険回避の方法を理解することを狙いとしています。

お互いの本当が伝わるとき -障害者- 24分 一般

「障害のある人をどう手助けすればいいのかわからない」という声をよく耳にします。今作では、障害のある人がどんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなどの具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか、また障害のある人から発信することの重要性も示しています。

Voice!!! (ボイス) 人権の教室 38分 中学/高校/一般

舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手がかりに、3つの人権のテーマについて学んでいきます。

- ①声援 <オリンピック・パラリンピックと人権> 講師 岩崎恭子さん
- ②発信 <北朝鮮による拉致問題> 講師 村尾健児さん
- ③歌声 <子供の人権(いじめ問題)> 講師 小森美登里さん

平成29年度人権作品集 「おもいやり」から 「日本は自殺大国」

安中市立松井田東中学校
三年 五代 彩乃

(11月号つづき)

日本の年間自殺者は、男性で一万五千二百二十一人、女性で六千七百七十六人、合計で二万八千九百九十七人だった。しかし、遺書を残していない場合は自殺に入らないため、これ以上に自殺者がいることがわかった。四十秒に一人は自殺しているということも知った。日本は自殺大国だった。

どうしてこんなにも自殺してしまう人が多いのだろう。私は自殺の原因やその心理についても調べた。

自殺の原因の多くは精神障害などだった。いじめなども原因に含まれていた。自殺者は苦しい状態が続き、心理的な負担が重なり自殺してしまうのだという。もし、自分の周りにそういう人がいたらどうすればいいのだろうか。TALKの原則というものがある。

「I Tellはつきり言葉に出し、心配しているか伝える。I Ask死にたいと思っているか率直に尋ねる。I Listen相手の絶望的な気持ちを徹底的に傾聴、受け取れめ聞き側に回る。四Keepsafe危ないと感じたら本人の安全を確保、周囲の協力を得て適切な対処。」というものだ。自殺を願望する人には、必ず目に見える形でサインが現れる。それらを見逃さず、このTALKの原則のように適切に対処することが大切だ。

自殺は自分を傷つけ、周りを悲しませる。自殺は日本の深刻な社会問題だ。私は日本の自殺者を一人でも多く減らしたい。生きにくい国ではなく、生きやすい国にしたい。(おわり)

問合せ▶生涯学習課生涯学習係 (☎内線2245)